

表2 平成19年7月1日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計<sup>\*1</sup>

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	6,092	603	6,695	889	1,257	2,146	6,981	1,860	8,841
	異性間の性的接触	1,586	492	2,078	304	728	1,032	1,890	1,220	3,110
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	3,802	1	3,803	247	0	247	4,049	1	4,050
	静注薬物濫用	19	1	20	20	2	22	39	3	42
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 <sup>*2</sup>	113	30	143	28	18	46	141	48	189
	不明	559	71	630	286	502	788	845	573	1,418
AIDS患者	合計 <sup>*3</sup>	3,080	228	3,308	635	298	933	3,715	526	4,241
	異性間の性的接触	1,240	148	1,388	219	156	375	1,459	304	1,763
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	1,123	1	1,124	92	2	94	1,215	3	1,218
	静注薬物濫用	12	2	14	19	0	19	31	2	33
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*2</sup>	79	15	94	19	9	28	98	24	122
	不明	617	59	676	285	127	412	902	186	1,088
凝固因子製剤による感染者 <sup>*4</sup>		1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

#### 死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成19年3月31日)	228名
エイズ予防法 <sup>*5</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*6</sup>	606名

\*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*6 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の報告数